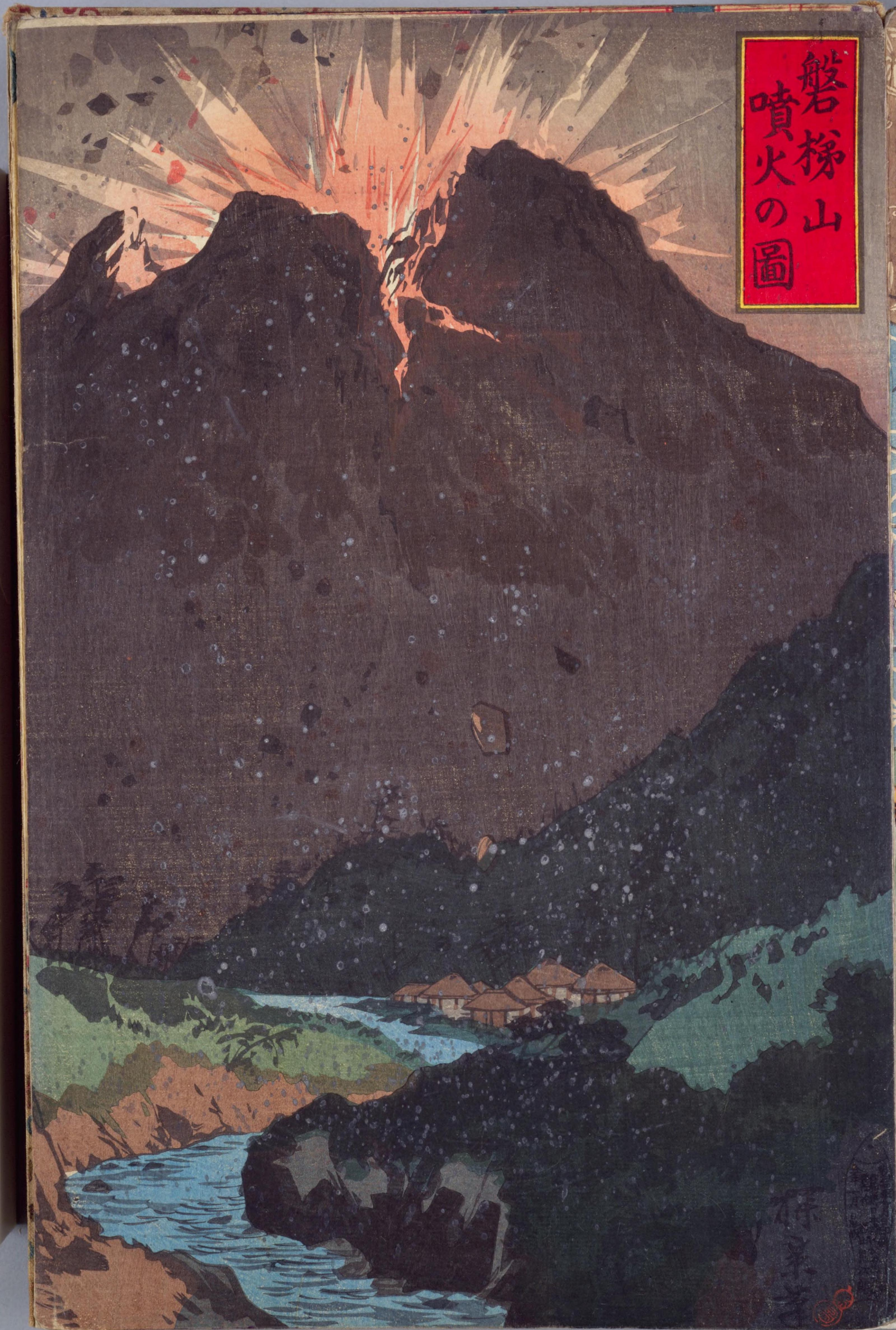


磐梯山  
噴火の圖



錦絵帖 2帖 寄別8-5-2-2 01-054

国立国会図書館





錦絵帖 2帖 寄別8-5-2-2 01-055

国立国会図書館



福島縣下磐梯山噴火の大慨を記す明治二十一年

七月十五日午前七時俄小山鳴震動して一時小破烈

し近傍村々の家屋微塵小飛散り又埋まり人民

死亡せし者數百人僅小免れしものハ皆父母妻子

兄弟を失ひ其屍を堀索むる有様實小見

小忍びと又川上温泉ハ數丈の下小埋め

られ却て小山を現出し同地の家屋

住民ハ勿論浴客五六十人の影も無く

其他埋りし者掘出せも身体黒色を

帶或ハ頭部多あり又四肢なきもの故

小男女の別を知らざる程あり嬰兒の首ハ

樹の上掛り腰より下を土埋められ上半身の

行衛を知らざる如き負傷人の中小頭を半分

失ひ面部の皮肉を取れ実小見由厭ふる有様あり

又長瀬川が二里余も埋まりこれ其水流れ来て流さうと

浮説小迷ひ東西小逃げ走る警察官ハ近傍の巡查を召集

し非常小尽カせられ実小其混雜宛由戦地小等し災害地

ハ山とあり川と変じ実況ハ言語小尽し難し辱あくも

宮内省より三千円を下賜り難有ことあり江湖の慈善

者より由夫々惠るよしさあうと云ふことあり

...



錦絵帖 2帖 寄別8-5-2-2 01-056

国立国会図書館

